

街 路



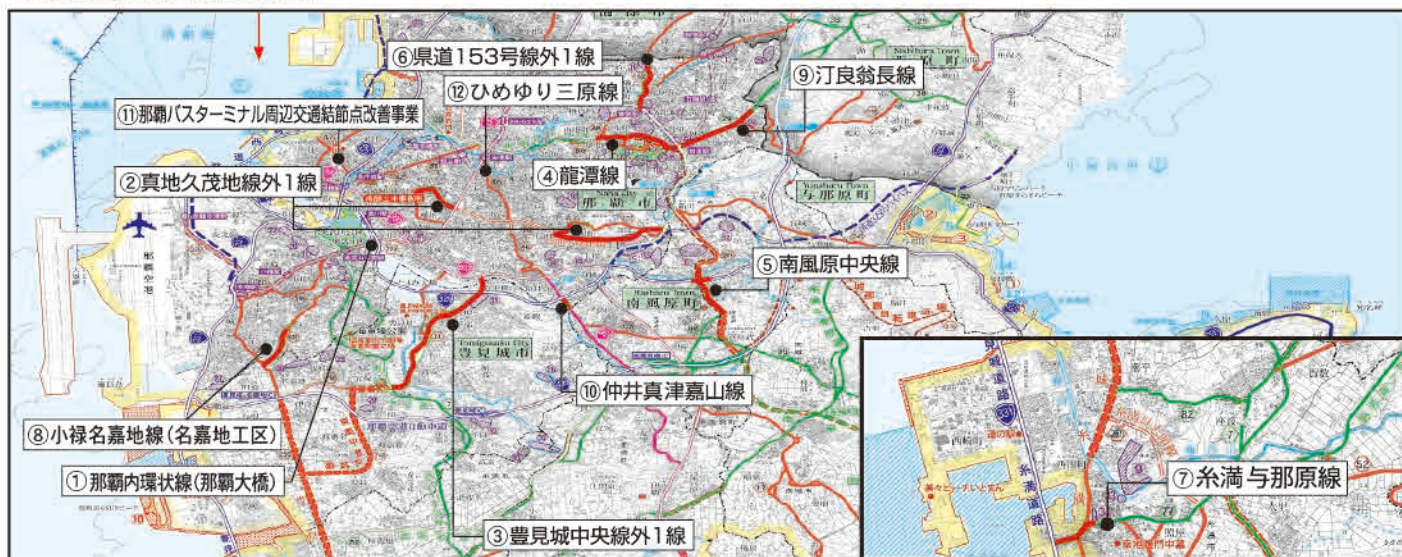
糸満与那原線 ラウンドアバウト

街路事業とは、都市計画事業として行われる道路改築事業のことをいいます。
管内の街路事業は、都市部の慢性的な交通渋滞の緩和を図るとともに、安全で快適なまちづくりに資するため、下記の12の事業箇所において、道路拡幅、交差点改良、電線地中化等の整備を行っています。
主な事業として、真地久茂地線、豊見城中央線、県道153号線、南風原中央線、糸満与那原線等があります。

◆街路事業実施箇所一覧表

番号	事業名(路線番号)	事業区間	事業延長	道路幅員(車線数)	道路規格(設計速度)	掲載ページ
①	那覇内環状線(那覇大橋) (221)	那覇市古波蔵～奥武山町	L=300m	W=27.5m(4車線)	第4種1級(40km/h)	P15
②	真地久茂地線外1線 (222)					〃
	真地久茂地線(開南) (222)	那覇市楚辺～樋川	L=800m	W=28m(4車線)	第4種1級(40km/h)	〃
③	識名真地線 (222)	上間入口交差点～識名交差点	L=540m	W=13m(2車線)	第4種2級(40km/h)	〃
	豊見城中央線外1線 (11)					P16
④	豊見城中央線(2工区) (11)	真玉橋南交差点～豊見城市根差部	L=590m	W=30m(4車線)	第4種1級(60km/h)	〃
	豊見城中央線(3工区) (11)	豊見城市根差部～豊見城市高安	L=540m	W=30m(4車線)	第4種1級(60km/h)	〃
	豊見城中央線(4工区) (11)	豊見城市高安	L=680m	W=30m(4車線)	第4種1級(60km/h)	〃
	豊見城中央線(高安工区) (11)	豊見城市高安～豊見城交差点	L=660m	W=30m(4車線)	第4種1級(60km/h)	〃
⑤	龍潭線 (29)	山川交差点～鳥堀交差点	L=1,215m	W=16m(2車線)	第4種2級(40km/h)	〃
⑥	南風原中央線 (241、82)	南風原町兼城	L=1,310m	W=29.20m(4車線)	第4種1級(50km/h)	〃
⑦	県道153号線外1線 (153)					P17
	県道153号線 (153)	那覇市首里平良町～浦添市経塚	L=730m	W=20m(2車線)	第4種1級(40km/h)	〃
⑧	松川石嶺線 (241)	儀保交差点～平良交差点	L=440m	W=26m(4車線)	第4種1級(50km/h)	〃
	糸満与那原線 (77)					〃
⑨	糸満与那原線 (77)	糸満市糸満～照屋	L=970m	W=20～23m(2車線)	第4種1級(40km/h)	〃
	小禄名嘉地線(名嘉地工区) (62)	那覇市宇栄原～豊見城市名嘉地	L=860m	W=13m(2車線)	第4種2級(40km/h)	〃
⑩	汀良翁長線 (29)	那覇市首里汀良町～首里石嶺町	L=1,060m	W=30m(4車線)	第4種1級(50km/h)	P18
⑪	仲井真津嘉山線 (R507)	那覇市字仲井真	L=220m	W=20m(2車線)	第4種1級(40km/h)	〃
⑫	那覇バスターミナル周辺交通結節点改善事業	那覇市泉崎～旭町	L=200m	W=18m(2車線)	第4種2級(40km/h)	—
⑬	ひめゆり三原線	那覇市壺屋2丁目	L=200m	W=29m(4車線)	第4種1級(50km/h)	P18

◆街路事業実施路線図



「測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R 7JHf 182」 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

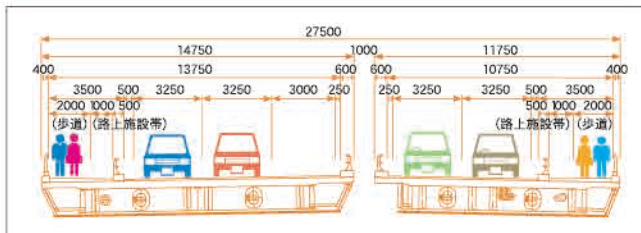
な は うち 那覇内環状線(那覇大橋)



完成予想図

事業概要

事業区間：那覇市古波蔵～奥武山町
 事業延長：L= 0.3km
 事業期間：平成23年度～
 道路幅員(車線数)：W= 27.5m(4車線)
 道路規格(設計速度)：第4種1級(40 km/h)
 総事業費(進捗率)：44.1億円(51%)



完成予想図

当該道路は、那覇市久茂地や赤嶺地区など市内の中心市街地を環状線で結び、経済・観光等様々な振興に寄与する、管内の重要な役割を担う道路の一つです。本橋梁周辺は学校、公園、モノレール駅等の公共施設が隣接しており、歩行者及び自動車交通量が多い状況です。

しかしながら、車道幅員や歩道幅員が狭隘な状況であり、また、昭和45年に建設され老朽化が激しいことから早急な対策が必要となっています。

橋梁を整備することにより、快適な歩行空間が確保できるとともに、ゆとりある都市空間の形成を図ります。

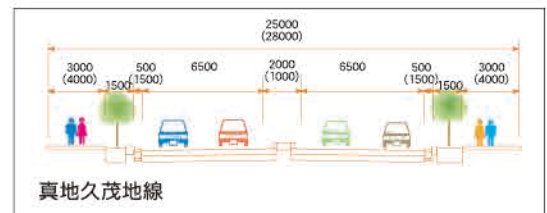
加えて、『自然・公園・まち、そして那覇の歴史と未来をつなぐ「ゆい」の橋』をコンセプトに、景観に配慮した橋梁の整備を行います。

ま あ じ く も じ 真地久茂地線外1線



事業概要

事業区間：那覇市楚辺～真地地内
 事業延長：L=3,710 m
 事業期間：昭和62年度～
 道路幅員(車線数)：W=28m(4車線) W=13m(2車線)
 道路規格(設計速度)：第4種1級(60km/h, 40km/h) 第4種2級(40km/h)
 総事業費(進捗率)：478.2億円(93%)



真地久茂地線

当計画道路は、一般県道真地久茂地線的那覇高校前交差点から那覇市真地までの約3.1kmとそれに接続する識名真地線の約0.5kmからなり、真地久茂地線是那覇市中心市街地と南北に走る国道330号及び第二環状線とを横断的に結ぶ幹線街路です。

那覇高校前交差点から開南交差点、与儀交差点、寄宮交差点を経て第2環状線へ至る現道は、幅員が狭小で線形が悪い為、一部区間をバイパスとして線形を改良するなど4車線に拡幅整備することにより、那覇市中心市街地と郊外を結ぶ機能的な交通網の確立と歩行者空間の創出を図るものです。

とみしろ

豊見城中央線外1線



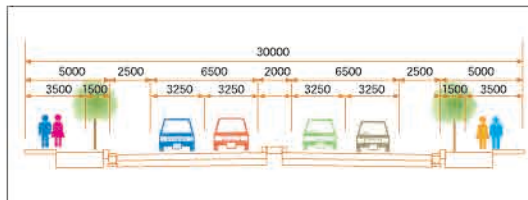
完成予想図

当計画道路は、一般県道11号線の豊見城市高安から真玉橋までの約2.7kmとそれに接続する県道11号線バイパスの約0.9kmからなり、豊見城市の交通の骨格を形成する道路として豊見城市役所と那覇市を結ぶ幹線街路ですが、現道は幅員が狭く、また、豊見城市のベッドタウン化による交通量の増加により交通渋滞が慢性化している状況です。

「那覇都市圏交通円滑化総合計画」において拡幅改良路線に位置づけられており、交差点改良、道路拡幅改良と合わせて橋梁整備を行い、慢性化している交通渋滞の緩和と安全で快適な歩行者空間の形成を図ります。

事業概要

事業区間：真玉橋南交差点～豊見城交差点
 事業延長：L=2,470m
 事業期間：平成12年度～
 道路幅員(車線数)：W=30m(4車線)
 道路規格(設計速度)：第4種1級(60km/h)
 総事業費(進捗率)：301.1億円(88%)



りゅうたん

龍潭線



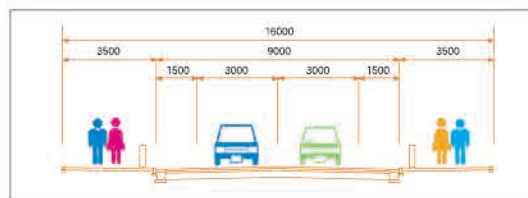
完成予想図

当計画道路は、主要地方道那覇北中城線の首里山川交差点から鳥堀交差点までの約1.2kmであり、本県の主要観光地である首里城公園へアクセスする幹線街路です。近年の交通量増加と未整備な道路状況により交通渋滞が慢性化し、周辺には小学校、高等学校があり通学路となっていますが、歩道が狭いため交通安全にも支障をきたしている状況です。

当該区間を整備することにより、快適な歩行者空間が確保できるとともに慢性化している交通渋滞の緩和を図ります。

事業概要

事業区間：山川交差点～鳥堀交差点
 事業延長：L=1,215m
 事業期間：平成11年度～
 道路幅員(車線数)：W=16m(2車線)
 道路規格(設計速度)：第4種2級(40km/h)
 総事業費(進捗率)：112.4億円(93%)



はえぼる

南風原中央線



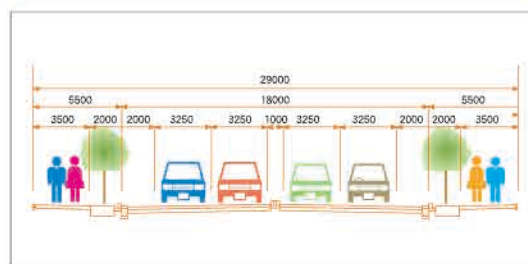
完成予想図

当計画道路は、一般県道宜野湾南風原線の大名原交差点から南風原町字喜屋武までの約1.3kmで、南風原町の中心地区にある役場から国道329号につながる幹線街路です。現道は、兼城交差点において交通容量不足から交通渋滞が著しく、また、歩道幅員も狭小な状況です。兼城交差点は、「CO₂排出量削減アクションプログラム」においても渋滞交差点として位置づけられております。

本路線を4車線に拡幅整備することにより、交通渋滞を緩和し、歩道拡幅により安全で快適な歩行者空間の形成を図ります。

事業概要

事業区間：南風原町兼城
 事業延長：L=1,310m
 事業期間：平成12年度～
 道路幅員(車線数)：W=29m(4車線)、W=20m(4車線)
 道路規格(設計速度)：第4種1級(50km/h)
 総事業費：169.8億円



県道153号線外1線

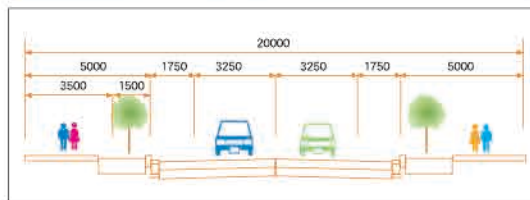


県道153号線は浦添市牧港の国道58号から那覇市首里までを南北に結ぶ幹線街路で、事業計画は、一般県道153号線の浦添市経塚から首里平良交差点までの約0.8kmとそれに接続する松川石嶺線の約0.4kmになります。事業区間はバス路線であるにも関わらず、未整備のため現道幅員が狭小で渋滞がひどく、歩車道の区別がない区間もある状況です。

本路線を整備することにより、浦添、宜野湾市街地から那覇市街地へのアクセス性を向上させるとともに、歩道を設置し安全で快適な歩行者空間の形成を図ります。

事業概要

事業区間：儀保交差点～浦添市経塚
事業延長：L=1,170m
事業期間：平成10年度～
道路幅員(車線数)：W=20m(2車線)、W=26m(4車線)
道路規格(設計速度)：第4種1級(40km/h)、第4種1級(50km/h)
総事業費(進捗率)：107.5億円(95%)



いとまんよなばる

糸満与那原線



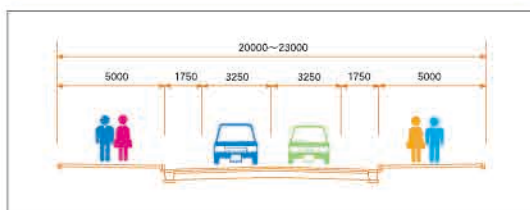
糸満与那原線は、南部地域内の市町と那覇市を結ぶ重要な幹線道路で、現道には十分な歩道がなく、朝夕のラッシュ時には交通渋滞をきたしている状況です。

糸満市の既成市街地の近隣には小学校、郵便局、市公設市場等が立地し、地域住民の生活に欠かせない幹線道路となっており、糸満ロータリー交差点は、円滑で快適な道路機能や新たなランドマークとしての機能向上を目的にラウンドアバウト(環状交差点)への交差点構造の変更を行いました。

当路線を整備することにより、交通渋滞を解消し、ゆとりある歩行者空間の形成及び市街地の活性化を図ります。

事業概要

事業区間：糸満市糸満～照屋
事業延長：L=970m
事業期間：平成9年度～
道路幅員(車線数)：W=20～23m(2車線)
道路規格(設計速度)：第4種1級(40km/h)
総事業費(進捗率)：139億円(95%)



おろくなかち

小禄名嘉地線(名嘉地工区)



当計画道路は、一般県道62号線的那覇市宇栄原から豊見城市名嘉地までの約0.86kmであり、那覇内環状線から小禄地区を南北に縦断し一般県道那覇空港線に結ぶ幹線街路です。

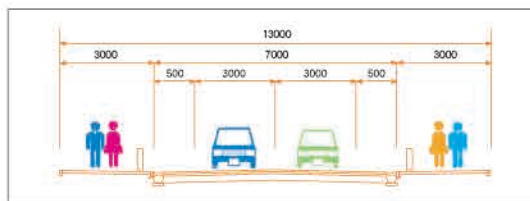
当該区間周辺は、小・中学校が立地しており、バス路線でもあるため、通勤、通学としての利用者が多い状況です。

また、周辺地域からの通過交通が多いにも関わらず、交差点で右折車線が無いことや、バス停車帯も無いことから、円滑な通行に支障が生じ、交通渋滞が発生しております。

当路線を整備することにより、安全で快適な歩行者空間の形成、交通渋滞の緩和を行い、良好な生活環境の形成を図ります。

事業概要

事業区間：那覇市宇栄原～豊見城市名嘉地
事業延長：L=860m
事業期間：平成28年度～
道路幅員(車線数)：13m(2車線)
道路規格(設計速度)：第4種2級(40km/h)
総事業費(進捗率)：43.3億円(1%)



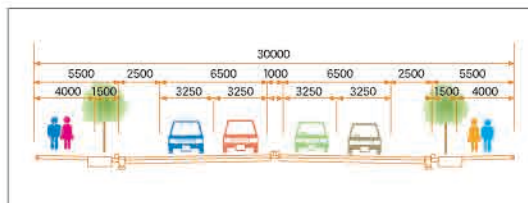
てらおなが 汀良翁長線



当計画道路は、主要地方道那覇北中城線の首里汀良交差点から那覇市石嶺までの約1.1kmであり、那覇市と中部圏域を結ぶ幹線街路です。現況道路は、2車線しかなく渋滞が慢性化し、交通事故も多発している状況のため、那覇市首里汀良町から西原町境界までを街路事業で、西原町境界から坂田交差点までの区間を道路事業で一体的に整備することにより、渋滞の緩和及び円滑で安全な交通の確保、地域へのアクセス性向上、歩行者の安全確保等効果的かつ迅速な整備効果を図ります。

事業概要

事業区間：那覇市首里汀良町～首里石嶺町
事業延長：L=1,060m
事業期間：平成21年度～
道路幅員(車線数)：W=30m(4車線)
道路規格(設計速度)：第4種1級(50km/h)
総事業費(進捗率)：110億円(59%)



なかいまつかさ

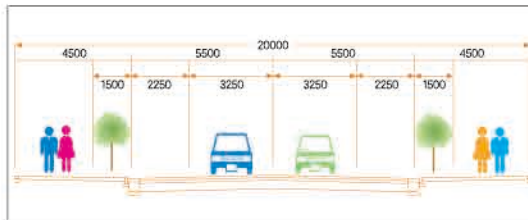
仲井真津嘉山線



当路線は、国道329号那覇東バイパスを起点に、那覇空港自動車道に至る延長1630m、幅員20mの幹線街路です。本事業は、仲井真交差点から南風原町との市町村界に至る延長220mの区間の整備であり、沿道には業務施設が立地し、周辺の市街化が著しいことから、関連する土地区域整理事業と連携して都市基盤となる幹線道路網の整備を行っています。

事業概要

事業区間：那覇市字仲井真
事業延長：L=220m
事業期間：平成22年度～
道路幅員(車線数)：W=20m(2車線)
道路規格(設計速度)：第4種1級(40km/h)
総事業費(進捗率)：9.5億円(75%)



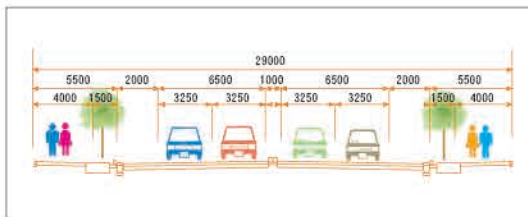
みはらせん

ひめゆり三原線



事業概要

事業区間：那覇市壺屋2丁目
事業延長：L=200m
事業期間：令和2年度～
道路幅員(車線数)：W=29m(4車線)
道路規格(設計速度)：第4種1級(50km/h)
総事業費(進捗率)：23.9億円(1%)



当路線は、那覇市壺屋を起点とし、真和志地区住宅街を通過し、那覇市三原に至る幹線道路です。当路線の周辺に位置する国道330号や一般県道46号線は、市街地や住宅地が隣接しており、通過交通や周辺地区からの発生交通により、慢性的な渋滞が発生している状況です。

当路線を整備することにより、国道330号に集中する交通の分散化や、生活道路に流入する通過交通を集約し、慢性的に渋滞が発生している国道330号の渋滞緩和を図り、沿道環境の改善及び安全で快適な歩行者空間の形成を図ります。